

水が好きいな

水の風

2024
4
No.606

特集

JAポータルはじまる
農家と宮農担当者の新しいコミュニケーションツールを目指して





グローイング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

塩谷

浩 (57) さん

農研機構 果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域 研究領域長

○しおたに ひろし / 農研機構の興津カンキツ研究拠点で柑橘の病害虫などに関する研究を展開。



■ 研究拠点で試験栽培するミカン園地

日本の柑橘研究を
背負う組織

興津カンキツ研究拠点は清水区興津中町にあり、明治期から柑橘類の保存、育成、栽培の技術開発、遺伝子の解析や利用技術の確立などの基礎的研究を行っている日本の中核施設だ。特に遺伝資源研究については、東アジア地区で重要な位置付けでもある。塩谷さんはその研究組織の研究領域長として、2019年に赴任し、柑橘の品種や栽培技術の研究開発を取りまとめてきた。

研究成果を農業技術の発展と 作物の安定供給に

生き物への興味が出発点

塩谷さんが農業研究に長年携わるようになったきっかけは、小学生の頃。母方の実家で行っていた稲作を見て「生き物を詳しく知りたい」と思った事。「食べる事」にも興味が湧き、気が付けば名古屋大学農学部に入學し、植物病理に関する研究にまい進していたそう。専門課程を経て卒業後も研究を続け、旧農林水産省果樹試験場に勤務となったが、意外にも柑橘との出会いは偶然だった。

「柑橘病害を扱う担当が欠員で、そこに自分が配属になったんです」と笑顔で話す。以来、柑橘病害の研究を重ね、「試行錯誤を苦にせず、コツコツやっていく」をモットーに主にカンキツかきような病に係る研究分野で類例のない成果を得、実績を残してきた。現在では、次世代の農業で必要となるドローンを利用した果樹の病害虫



■ 数々の研究実績を生む興津カンキツ研究拠点

防除技術の開発や、柑橘輸出に向けた高糖度果実の安定生産と鮮度保持技術の確立に携わっている。

栽培技術の進歩と未来

時間ができた時は、読書や散歩に出掛けるという。浜石岳には何度も登り、「いろいろな風景を見て歩きながら、頭をほぐします」と塩谷さん。



■ 敷地内のプラタナス並木は、日本中のプラタナスの親とも言われている

農業の未来について話を向けると、「病気に強く、おいしくて楽に作れる農作物ができれば」と将来像を語ってくれた。日進月歩で技術が進化する現在、IT技術を駆使した「スマート農業」が叫ばれる。

塩谷さんは自身の研究分野と関連技術が融合した新しい農業の実現に思いを広げ、未来の姿を見据えている。

CONTENTS

風の風

2024
4
No.606



記事の一部は
Youtubeで配信
しています。

- 2 Glowing Face
塩谷 浩さん
- 4 特集/
「JAポータル」はじまる
- 8 TOPICS
- 10 本格畑づくり
～トウモロコシ～
- 12 営農ワンポイント
～5月編～
- 15 キッチンと美味しい!すぐできレシピ
～新タマネギの他人丼～
- 16 農業の未来とSDGs
- 17 いまどき!Youth
- 18 Information
- 20 ゆるっと発見!しみずの魅力
～小島地域～

今月の表紙



塩谷 浩さん
(清水区八木間町)

かつて、興津カンキツ研究拠点では、訓練の一環で甲府までの約100kmをウォーキングする伝統があったそう。「足のママがすごいらしいですよ」と笑顔で話す塩谷さん。研究施設ながら、破天荒なエピソードが印象深い一面を伺うことができた。



「JAポータル」はじまる

農家と営農担当者の新しいコミュニケーションツールを目指して

「肥料や農薬、食料品などを自分の好きな時間に注文したい」「購買請求書や販売精算書をWebで見られるようにしてほしい」といった声に応えるため、スマートフォンやパソコンで日常業務を効率化できる新サービス「JAポータル」が始まりました。今号では、組合員とJAしみずをつなぎ、農業経営に役立つ無料サービスについて特集します。



JAポータルは 誰が使えるの？

購買取引、JAへの出荷、グリーンセンターでの販売など、取引のある方はJAポータルに会員登録するだけでスマートフォン、パソコンなどご利用の端末からアクセスできます。



JAポータルで 何ができるの？

JAポータルでは、肥料や農薬などのインターネット注文や、請求書・精算書、グリーンセンター売り上げ状況の閲覧ができるほか、営農担当職員と生産者が商品画面を見ながら、相談や購買品を発注することが可能です。

また、LINEと連携すれば、素早くJAポータルを見ることができます。

JAポータルとは

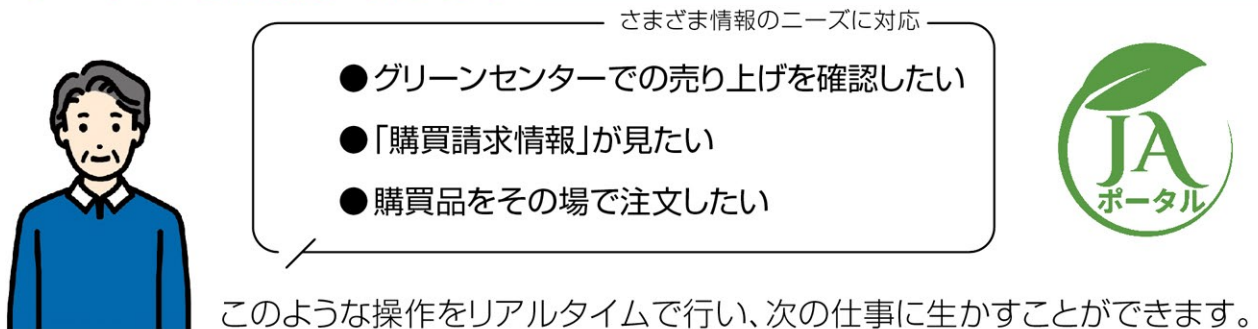
利用者とJAをつなぐ役割を果たし、スマートフォンやパソコンでJAからの購買請求書等の各種照会、インターネット注文などさまざまな機能を無料でご利用いただけます！



使う側の心配事は？



JAポータルを利用することで



デジタル化による効率化と対面サービスを両立

JAしみずは、生産者とのコミュニケーションを欠かすことなく、JAポータルのデジタル化された購買や販売の仕組みを運用し、いつでもどこでも発注や確認、購買・販売の請求書、精算書の表示ができるよう、仕事の効率化を推進していきます。

デジタル化は利便性ととも、紙でのデータ出力を削減可能*というメリットもあり、地球環境にやさしい事業実現に貢献するものとして大きな期待が寄せられています。

SDGsを基本とした持続可能な事業への貢献のため、ぜひ積極的なシステム利用をお願いいたします。



営農経済部 購買課長
富賀見 悟

JAポータルに 登録してみよう!!



1 下記の「二次元コード」を読み込みJAポータルサイトへアクセス



お使いのスマートフォンの機種によって読み込み方が異なります。
当該機種の説明書をご確認ください。

2 「利用者コード」と「パスワード」を入力
ログイン をタップ

JAコード4桁と取引先番号8桁の合計12桁

別途ご案内した初期パスワード*

利用者コードパスワードを入力後[ログイン]

※ログインには数秒かかる場合があります。

* 営農担当職員に確認してください

利用者コードの確認方法

お客様番号 0012345678

取引先番号はお客様番号左の2桁を除く8桁の数字

通帳サンプル

例: /ウキョウ タウ サマの利用者コードは 012312345678となります

JAコード 取引先番号

0123 567

JAコードは金融機関番号4桁の数字

3 新しいパスワード入力
利用開始 をタップ

新しいパスワードは英数字混在で設定
※4文字以上20文字以内

利用規約のご確認をお願いします

「上記の利用規約に同意する」にチェック✓を入れ [利用開始] をタップ

4 LINE連携の設定
友だち追加 をタップ

LINE連携の設定

LINEを利用しない (後で設定)

以下のボタンから友だちに追加できます。

友だち追加

5 LINEログイン
LINEアプリで
ログインをタップ

LINEログイン

6 LINEの認証
許可する をタップ

許可が必要な項目

プロフィール画像 (必須)

ユーザーアイコン (必須)

許可する

7 LINEの認証
友だち追加 をタップ

友だち追加

8 登録完了

メニュー

ご連絡

要回答メッセージ

メッセージ

ご注文

精算品注文

予約注文

ご利用状況

請求書

精算書

JAポータル操作画面



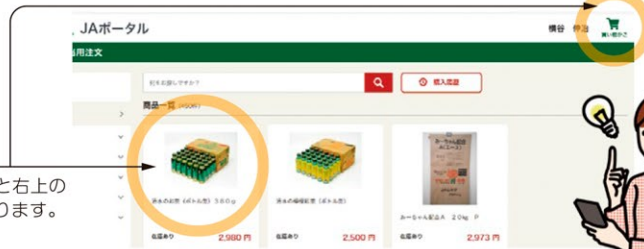
注文



肥料や農薬などを
ネットで注文できます。



タップ(クリック)すると右上の
買い物かごに商品が入ります。



利用状況



購入した
購入品と、金額が
確認できます。



購入した
品物を1年分、
確認できます。



出荷物の
販売価格や数量を
確認できます。

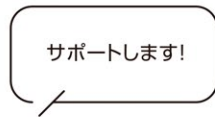


出荷した農産物の
販売実績1年分を
確認できます。

購買取引明細



購買取引明細を
閲覧できます。



園地で営農担当職員と商品画面を見ながら相談できます

販売取引照会



販売実績表(総合)を
閲覧できます。



販売実績表(作物別)を
閲覧できます。



販売実績表(作物・月別)を
閲覧できます。



「販売精算データ」の
合計と明細を
ダウンロードできます。

速報



グリーンセンター
での売上速報を
閲覧できます。



停止を選択!

紙出力を止めたいときは...



タップ
(クリック)!



※購買代金請求書と販売代金精算書の紙出力は、今後、有償となる見込みです。

各地域の活動やイベントなど、
さまざまな話題を紹介します。

JAしみず プロ野球球団を清水の茶で応援

JAしみずは2月19日、静岡県内初のプロ野球球団「くふうハヤテベンチャーズ静岡」を応援しようと、JAオリジナル商品「清水のお茶」「清水の檸檬紅茶」各10ケース（1ケース24本入り）を球団に贈りました。

贈呈式でJAの石切山誠組合長は、清水の茶にかけて「皆さんは茶（チャ）レンジャー。茶（チャ）ンピオンを目指して、頑張ってください」と激励しました。高橋駿キャプテンは「最近では地元で支持されていると、とても感じる。プレーやさまざまな形で還元したい」と意気込みを語りました。



▲ 贈呈式に臨む（左から）赤堀元之監督、石切山組合長、内田順三打撃アドバイザー

JAしみず 「はるみ」出番 直営カフェでフェスタも

JAしみず柑橘共選場で2月7日、「はるみ」の選果が始まりました。今年産は好天に恵まれ、平年以上の出来栄え。3月中旬まで、京浜や新潟、東北、県内の市場などへ約490tを出荷しました。

四季菜ジェラート&カフェきりでは、10日にははるみフェアを開催。開店の午前10時には約100人が列を作り、用意した4Lの大玉1000個と、箱入り（5kg）を販売しました。店内では「はるみ」のジェラートやパフェも販売し、親子連れでにぎわいました。



▲ はるみフェスタで「はるみ」を買い求める来店者

清水船越小3年生 地元茶体験生かし消費を活性

清水船越小学校の3年生約80人は2月1日、昨年6月に地域の茶農家・水野正一さんの茶園で摘み取った茶葉を使って、茶の手もみを体験しました。出来上がった手もみ茶は一煎パックにし、18日に開かれた第27回日本平梅まつりの会場で、児童自ら来場者に配りました。

また21日には、茶葉を使ったポテトチップスの試食会を同校で開き、塩加減や茶葉の濃度の違う8種類を食べ比べました。地元企業などの協力を得て、試食した中から1種類を商品化し、日本平ロープウェイの売店で販売します。

水野さんは「お茶味のチップスという発想がすごく良い。大人になっても急須でお茶を飲んでほしい」と話しました。



▲ 手もみを体験した児童

しみずみらい応援団 あしなが育英会に寄付届ける

JAしみずは2月14日、東京都内のあしなが育英会事務所で、農産物の売り上げの一部を寄付する取り組み「しみずみらい応援団」の贈呈式を開きました。2023年度の寄付金は377万円余り。応援団長を務める清水区出身の落語家・春風亭昇太さんと石切山誠組合長が目録を届けました。

石切山組合長は「取り組みが5年目を迎え、今後は清水区の子ども食堂にも一部寄付を行っていく。地域社会への貢献・還元する事も、JAの大きな役割」と話しました。

JAからあしなが育英会への寄付金累計額は約1900万円になりました。



▲ 贈呈式に参加した（前列左から）石切山誠組合長、玉井義臣会長、春風亭昇太さん、村田治会長代行

ふじのくに新商品セレクション オリジナル茶飲料「檸檬紅茶」金賞

静岡県が主催する「ふじのくに『食の都』表彰式」が2月13日、静岡市葵区で開かれ、JAしみず関係者が出席しました。県内の農林水産物を使用した加工品に贈られる「ふじのくに新商品セレクション」部門で、JAのオリジナル茶飲料「檸檬紅茶」が金賞を受賞。「爽やかで飲みやすくレモンと紅茶がうまく調和している商品」と審査員に高く評価されました。

交流会でJAのブースに立ち寄った川勝平太県知事は、檸檬紅茶を試飲し、「幅広い世代に人気が出る爽やかな飲み心地だ。味もすっきりしていて完成度が高い」と笑顔で話しました。



▲ 表彰式に出席した受賞者たち

静岡県柑橘生産者大会 「安定出荷」最重点に 品評会表彰も

JA静岡経済連などは2月16日、静岡市内で2024年県柑橘生産者大会を開き、生産者や県内JAの役職員ら関係者約350人が参加しました。

24年産の最重点項目には「適切な着果管理と高品質果実の生産による安定出荷」を掲げ、報告事項では、県農林技術研究所の研究者とメーカーの担当者が病害虫防除について講演。農業用ドローンを利用した防除を紹介し、スマート農業による労力軽減をアピールしました。

また、県貯蔵ミカン品評会と県中晩生柑橘品評会の表彰式も行われ、「不知火」で最高位の優秀賞・関東農政局長賞に輝いたJAしみずの望月孝芳さんが登壇しました。



▲ 最高位の関東農政局長賞を受賞した望月さん(左)

興津宿寒ざくらまつり 女性部興津支部が出店

第27回興津宿寒ざくらまつりが2月4日、興津生涯学習交流館東側広場で開かれ、女性部興津支部が出店しました。

当日はあいにくの小雨でしたが寒桜が咲き誇り、部員たちは地元で栽培した「せとか」「はるか」「スイートスプリング」、レモンなどの柑橘類やブロッコリー、ネギなどの野菜、花き類を販売しました。

部員たちは「興津の農産物を味わってください」と来場者たちに声を掛けて交流を深め、まつりを楽しんでいました。



▲ 寒ざくらまつりに出店した部員たち(右)

清水お茶のまちづくり実行委員会 地元茶振る舞い、市民と交流

清水区の茶生産者や小売店、JAしみずなどで構成する「清水お茶のまちづくり実行委員会」は2月18日、地元の茶文化を知ってもらおうと「地元茶でもてなす会」を清見寺で開きました。約300人が来場し、若手茶農家がこだわりの茶を振る舞う茶席など、茶に関するさまざまなイベントを楽しみました。

今回の20回目を節目とし、同会が主催するイベントは最後。JA柑橘茶振興課の志田真貴子主任は「4年ぶりの開催でしたが、多くの方に清水のお茶を楽しんでもらえてよかった」と話していました。



▲ 「お茶農家の茶席」で、茶を振る舞う若手茶農家(中央)

小島地域 ミカンまつり盛況

小島地域は2月17日、JAしみず小島支店で小島ミカンまつりを開きました。

地域で栽培された「はるみ」「こん太」「寿太郎」「青島温州」などのミカンの販売をはじめ、青壮年部による射的コーナーや、地元茶の詰め放題などが行われたほか、女性部は豚汁や伝統野菜「のらぼう菜」の漬物を来場者に振る舞うなど、多くの人々が訪れ盛況でした。

大野容嗣支店長は「小島の生産者が作った自慢のミカンをぜひ味わってほしい」と話していました。



▲ 地元のミカンを買い求める人でにぎわったまつり

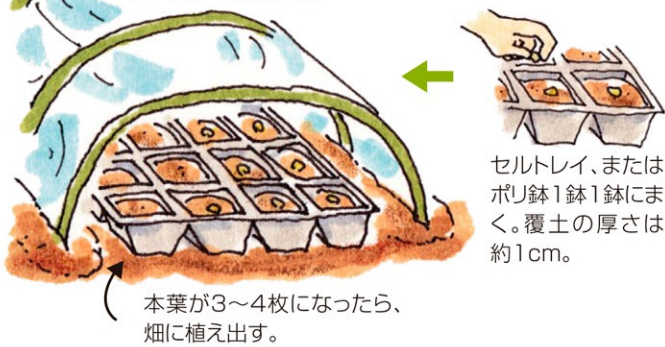
① 畑の準備

畑は早いうちに肥料を全面にまいて、耕しておく。



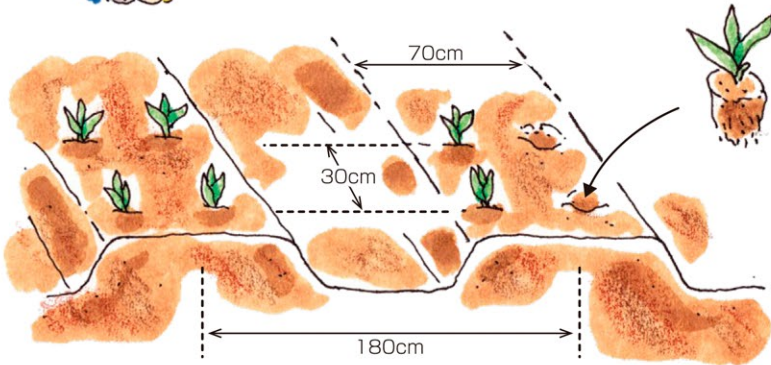
② 苗づくり

早くまいた場合は、ビニールトンネルで保温する。



本葉が3~4枚になったら、畑に植え出す。

③ 植え付け・種まき<育苗した場合>



トウモロコシ

もぎ立ての味が最高で、夏の家庭菜園の立役者。ビタミンB1、B2、リノール酸が豊富でスタミナ源として愛される。高温多日照を好む。正常な受精のための適温は12℃以上35℃以下。栽培する列を多くし、しっかりと受粉させるのがポイント。根は病害虫に強いので、野菜畑の輪作作物として好適。また、近年糖分の多いスイートコーンの品種改良が急速に進み、スーパースイートコーン系や黄色系の中に白色粒が混じるバイカラー系が普及している。



グリーンセンターおすすめ! アイテム



春植え野菜苗 続々入荷します!

夏野菜の 植え付け シーズンです!



4月からキュウリ・トマト・ナス・ピーマン・スイカなどの苗が順次、店頭に並びます。病害虫に強く育てやすい接ぎ木苗もご用意しております。

グリーンセンター センター長

菅原 章人

■栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トンネル栽培(育苗)			●	◆		■						
露地栽培(じかまき)				●			■					

● 種まき ◆ 植えつけ ■ 収穫 □ トンネル被覆

左頁の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

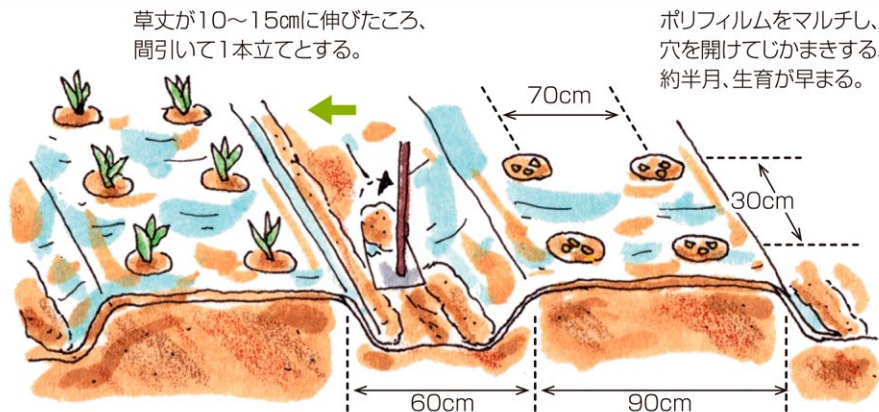
【ご注意ください】 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

■ 商品については…

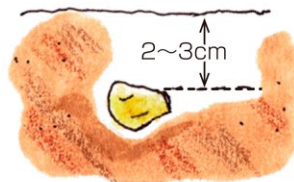


グリーンセンター
054-367-2112

③ 植え付け・種まき<畑にじかまきの場合>

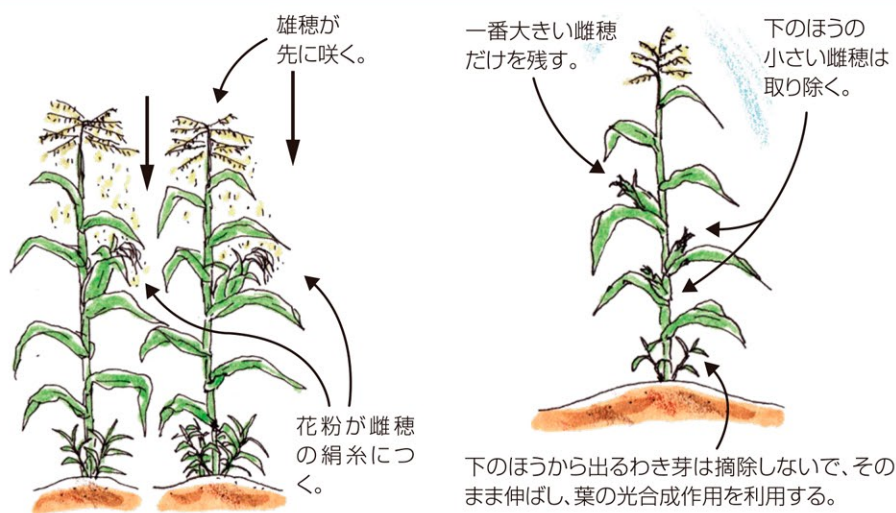


種は1カ所に3粒まく。
覆土は2~3cmの厚さに。



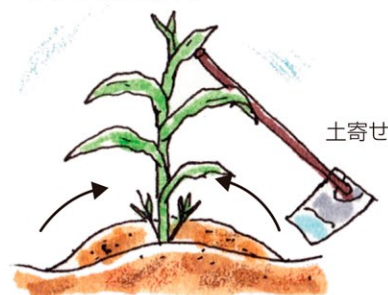
※じかまきは、鳥害を受けやすいので、防鳥ネット等で防ぐ。

⑤ 雌穂の整理



④ 追肥・土寄せ

生育前期(雄穂抽出)に、
ほう素入り粒状固形肥料080を
追肥する。根の張り方が浅くて
風で倒れやすいので、追肥のあと、
しっかり土寄せする。
ポリマルチのあるときは、
やらなくてもよい。



⑥ 収穫



手でつかんで、
元からもぎ取る。



花粉がついて
受精してから3週間くらい
たち、毛が茶色に縮れたころ。

ここが
知りたい!

Q&A 「実入りがまばらで困る」

低温や乾燥を避けて、完全な受粉を心掛ける

トウモロコシの花は、雌雄異花で同じ株につきます。
生育が進むと、まず雄穂が伸びて開花し、その数日後に雌穂
の絹糸が伸びてきて、上からの花粉を受けて受粉が行われます。
完全な受粉のためには、極端な寒さや乾燥を避ける
のが何よりも肝心です。

また、栽培する株が数株しかないようなときは、
飛散する花粉が少ない上に、風で外に飛散してしまう
ものも多く、不稔粒になる確率が高いので、1カ所に最低
10株以上、複数列にまとめて栽培することをおすすめします。



■ 施肥例

施肥量：1aあたり

種類	施肥量	施用時期・方法
元肥	完熟堆肥	90kg
	苦土石灰	9kg
	ほう素入り粒状固形肥料080	18kg
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	9kg

作付け
2週間前施用

④追肥の項を参照

■ 病害虫防除

散布量：30Lまで/1a

病害虫	薬剤名	使用量 希釈倍率	使用日数	使用回数	使用方法
ネキリムシ	ダイアジノン粒剤5	600g/1a	出芽時	1回以内	土壌表面散布
アワノメイガ	デナボン粒剤5	400g~600g/1a	雄穂抽出期~雌穂抽出期 ただし収穫21日前まで	2回以内	散布
	プレバトンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	
カメムシ	スタークル顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	

※トウモロコシは、農薬登録上の作物名が「未成熟とうもろこし」で「穀類」の分類となります。また、「ヤングコーン」は「野菜類」の分類となり、使用できる農薬が「未成熟とうもろこし」と異なる場合がありますので、ご注意ください。

山間地では一番茶の生産が最盛期を迎えます。

5月に入ると夜温が高くなり、芽の生育速度が早まりますので、遅場所に茶園が多い方は、みる芽からスタートし、盛期に刈り遅れて品質低下を起こさないようご注意ください。

また、一番茶バン茶生産や二番茶生産は、茶況と需要を確認し、茶工場と連携して生産しましょう。
一番茶後の茶園管理は、下記を参考にしてください。

■一番茶摘採後のならし

一番茶後の整枝は、遅れ芽が出揃った時期(一番茶摘採後10日から14日)に実施してください。

整枝位置は、一番茶摘採の位置よりも深くないように注意しましょう。整枝が深いと、すでに生育が始まっている二番茶芽が刈り落とされ、有効芽数が減少するため、二番茶の収量や品質の低下を招く恐れがあります。

■一番茶後の更新

樹勢が低下してきた茶園や枝が細くなってきた茶園

は、必要に応じて一番茶後の更新作業を実施しましょう。更新位置は、地上30cm~50cm程度の高さで、細枝が密集している箇所の下を目安に更新を行ってください。

■病害虫防除

この時期から、病害虫の発生が多くなり防除が本格化します。

園地状況を確認し、表①の茶園防除基準に沿って防除を実施してください。

表①(防除) 二番茶摘採茶園

散布時期	対象病害虫	薬剤名	濃度	日数	回数	効果
一番茶摘採後 (二番茶摘採園)	カンザワハダニ・チャノナガサビダニ・ チャノホコリダニ・チャノコカクモンハマキ・ チャノホソガ・チャノミドリヒメヨコバイ・ チャノキイロアザミウマ・チャトゲコナジラミ	アグリメック	1,000倍	7日	1回	幼虫 成虫
	炭疽病・もち病・赤焼病	クミガードSC	500倍	前日	-	予防
二番茶 1葉開葉期	炭疽病・もち病	オンリーワン フロアブル	2,000倍	7日	2回	治療
	チャトゲコナジラミ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回	幼虫 成虫

その他病害虫

5月下旬	クワシロカイガラムシ	アプロードエース フロアブル	1,000倍	14日	2回	若令 幼虫
------	------------	-------------------	--------	-----	----	----------

* クワシロカイガラムシの防除は、茶の幹に薬剤を掛ける必要があるため、アーチ型噴口やつっこみ式噴口を使用してください。また、一番茶後に中切り更新を行った茶園に集中して防除することが有効です。

■施肥

各コースにより内容が異なりますので、表②に従い施肥を行ってください。

一番茶後に更新する茶園では、更新前に肥料を施すことで肥効が上がり、再生芽の生育が良くなります。

表②(施肥)

(10a当たり)

施肥名	施用時期	コース名	肥料名	施用量
二茶肥	一番茶摘採後 (二番茶前)	基本	硫安(細粒)	3袋
		こだわり茶園		
		省力ロング	-	-

■茶の品質改善に芽重型茶園づくりを!

良質なお茶づくりのため、また、病害虫や気象災害に強い茶樹を作るためには、樹勢を強化することが重要です。茶樹の本来持っている力を活かし、健全な大きな葉や吸収力の高い根を発生させるためにも、一番

茶摘採後には、芽重型茶園管理を行い「清水のお茶」全体の品質の底上げをしましょう。

芽重型茶園で生産されたお茶は、JA仕上茶事業で積極的に取り入れられており、昨今の茶業情勢の中において、明確な品質差と単価差が表れています。

芽重型茶園(原点回帰の茶樹)づくりの手順

1年目 (2024年)	茶樹に樹勢をつけさせる1年	一番茶を摘採後、二番茶を摘採せず、秋まで地上部を茂らせ、地下部を充実させる。
2年目 (2025年)	一番茶後に中切り更新	できる限り深い位置で更新。秋まで健全に枝葉を伸ばし、力ある太い母枝が揃う茶樹に変身させる。
3年目以降 (2026年~)	樹体改善を実感!	一番茶・二番茶を通常通り収穫。力強い芽重の芽となり、内質の伴った魅力あるお茶ができる。

■病害虫防除

開花期の灰色かび病と訪花害虫、アザミウマ類の防除は外観品質を大きく左右します。
黒点病防除は、雨による感染を防ぐことが重要です。梅雨入り前までに散布を終了しましょう。
表①を参考に防除を実施してください。

■管理作業

樹勢を維持するため、表②を参考に夏肥を施用してください。



表① 病害虫防除 (柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
青島	3分咲き	灰色かび病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日—3回	×
		アブラムシ ケシキスイ類	オリオン水和剤40(劇)	1,000倍	14日—3回	○
	落弁期	チャノキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	3,000倍	14日—3回	○
		灰色かび病・そうか病	ナリアWDG	2,000倍	14日—3回	○
		黒点病	エムダイファー水和剤	600倍	60日—2回	×
中晩柑 ※2※3	5月上旬	かいよう病	アピオンE	1,000倍	---	○
			ICボルドー66D	100倍		○
	3分咲き	灰色かび病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	45日—2回	×
		アブラムシ ケシキスイ類	オリオン水和剤40(劇)	1,000倍	14日—3回	○
	落弁期	チャノキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	3,000倍	14日—3回	○
		灰色かび病	ナリアWDG	2,000倍	14日—3回	○
		黒点病	エムダイファー水和剤	600倍	90日—2回	×

※1 使用基準は「収穫前日数—散布回数」をあらわす。
※2 昨年かいよう病が多発した園地では、5月下旬にアピオンE 1,000倍加用ICボルドー66D 100倍を散布する。
※3 中晩柑のうち、落弁期の灰色かび病防除は清見、はるみのみ。

～青島・中晩柑注意点～

・茶園隣接園では3分咲き期にフロンサイドSC 2,000倍(30日-1回)を散布する。
・4月にマシン油乳剤を散布していない園地では、6月までに150倍で散布する。
・昨年カタツムリ類が多発した園地では、スラゴ(5g/m²)を樹の周囲に設置する。

表② 施肥基準 (柑橘)

施用時期	施用品目	肥料名	10aあたりの施用量
5月上旬	太田ボンカン	みーちゃん配合A※1	5袋
	はるみ		7袋
	不知火・清見		7袋
5月下旬	早生温州		3袋
	青島温州		7袋

※1 早生温州以外で中部柑橘共通配合を使用する場合は、1袋減らす。

■植え付けについて

植え付けは3～4月に行い、株間・条間0.5～1.0mの千鳥植えとし、管理しやすい密度で植え付けます。深植えにならないように注意しましょう。また、植え付け後は敷きわら等を行い、乾燥防止に努めましょう。

■整枝について

3～4年目に幹の高さを50～60cmで芯止めし、3～4本の新芽を立ち上がらせます。植栽後約5年後には本数が増えて収穫することができます。

■病害虫防除について

スリップス、ダニ、カイガラムシとその排泄物からなるスズ病が発生します。早めの防除が必要です。また、被害にあった枝葉や下垂枝などを剪定・除去し、日当たりや風通しを良くすることが大切です。





■管理作業

摘蕾、摘果は良質な果実を生産するために欠かせない作業です。摘果は、生理落果が落ち着いた頃から実施してください。表①を参考に実施してください。

イチジクは、梅雨期の前に園内の排水路の整備やかん水施設の点検を実施し、疫病感染および乾燥対策として敷わらを施してください。

■病虫害防除

表②を参考に防除を実施してください。



表① 摘蕾・摘果(落葉果樹)

作業	品目	摘むもの	残すもの
摘蕾	柿	上向きの蕾	下向きか横向きの充実した大きな蕾
	キウイフルーツ	1芽に発生した3つの蕾の内、両側の蕾(側花)	短果枝で1~2蕾、長果枝で3~4蕾
摘果	プラム	上向き果、傷害果	下向きか横向きの大きな果実、果梗枝が太く緑色が濃い果実
	梨 荒摘果	変形果、有てい果	斜め上向きの幼果、肥大良好な果実
	梨 仕上げ摘果	上向き果、下向き果、古い枝の果実	

表② 病虫害防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{*1}
梨 (幸水・豊水)	5月上旬	黒星病	ミギワ20フロアブル	4,000倍	前日-3回
		アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	3,000倍	前日-3回
	5月中旬	黒星病・輪紋病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		ハマキムシ類・シンクイムシ類 ・カメムシ類	ロディー水和剤	1,000倍	前日-2回
キウイフルーツ (ハイワード)	5月下旬	クワシロカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	7日-3回
		かいよう病	コサイド3000 ^{*2*} クレフノン	2,000倍 200倍	収穫後~果実肥大期まで
キウイフルーツ (東京ゴールド)	5月中旬	かいよう病	コサイド3000 ^{*2*} クレフノン	2,000倍 200倍	収穫後~果実肥大期まで
		果実軟腐病	ダコニール1000	1,000倍	60日-7回
		クワシロカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	7日-3回
イチジク	5月 ^{*4} (新梢伸長期)	疫病	Zボルドー	1,000倍	-
			クレフノン	200倍	
柿 (次郎、四ツ溝)	5月上旬	落葉病・黒星病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-3回
	5月中旬 ^{*5}	チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	2,000倍	14日-2回
	5月下旬	うどんこ病・落葉病・灰色かび病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	14日-3回

^{*1} 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。
^{*2} 薬害を生じるおそれがあるため過度の連用は避け、十分注意する。受粉後は受粉結果を確認した後散布する。
^{*3} クレフノン加用コサイド3000とスプラサイド水和剤の散布間隔は2週間以上あけること。

^{*4} 前年そうか病が発生した園地では、トップジンM水和剤1,500倍(7日-5回)を単体で散布する。クレフノン加用Zボルドーとの散布間隔は14日以上あけること。
^{*5} カキノキマダラメイガの幼虫の発生が認められた場合は、加害部位にパダンSG水溶剤1,500倍(45日-4回)を散布、またはガットサイドS1.5倍(45日-2回)を散布または塗布する。

■催芽処理から田植えまで

前号の「種子消毒後の浸水処理」以降の管理を続けます。

1. 催芽

27~29℃で1~2日間加温し、芽の長さは1mm程度までとし、伸びすぎないようにします。30℃を過ぎると、もみ枯れ細菌病、苗立枯細菌病が発生しやすくなるため、温度管理には十分注意しましょう。

2. は種

育苗箱に粒状ばーまっと3号を入れたら、根上がり防止のために十分かん水します。は種量は1箱当たりあいちのかおりは160g、その他品種(こしひかり、きぬむすめ、キヌヒカリ、にこまる等)は150gで均一に播きます。は種後は再度かん水し、粉がきれいに隠れるように培土で均一に覆土します。覆土後のかん水は、発芽障害の原因となるため行いません。

3. 発芽~硬化

温度を27~29℃に保ち、箱積みの場合は途中で上下の育苗箱を入れ替えます。は種2日後の出芽長が0.8~1cm程になった時、昼間25℃、夜間20℃を目安に日陰で1~2日緑化させます(天候や苗の様子で調整してください)。緑化後は日光に当てて硬化させますが、開始時刻は日中を避け、夕方からとします。



4. 田植え・箱粒剤処理

田植え時の苗は、育苗日数20日、草丈12cm、本葉2~2.5枚が良好です。育苗日数が長い場合は苗の老化や徒長にご注意ください。

箱処理剤は、栽培暦を確認し必ず処理しましょう。
^{*}生産履歴簿や栽培暦が必要な方は、JAの営農窓口までお問い合わせください。





スマホでもチェック!

材料
／
2人分

新タマネギ …… 2個
塩昆布 …… 大さじ1
ゴマ油 …… 少々
豚肩ロースしゃぶしゃぶ用 …… 150g
塩麴 …… 大さじ1+1/2
(砂糖小さじ1、塩少々、酒大さじ1で代用可)
卵 …… 3個
青ネギ …… 3本
ポン酢 …… 大さじ1/2

[煮汁]

だし …… 200ml
酒 …… 50ml
A 砂糖 …… 大さじ1
しょうゆ …… 大さじ1
ポン酢 …… 大さじ1



新タマネギの他人丼

～とろとろ卵と新タマネギを絡めた豚丼～

作り方

(1) 新タマネギの準備をする

- ① 新タマネギは洗って皮をむく。1+1/2個は、縦方向に1cm幅くし形に切る。耐熱ボウルに入れてゆるくラップをかけ、電子レンジ(600W)で5分加熱する。
- ② 残り1/2個でトッピングを作る。横方向に2mm厚さにスライスし、キッチンペーパーを敷いたバットに広げて水分を拭く。ペーパーを外して広げ直す **a**



タマネギの辛み成分は揮発性。空気にさらしておくことで軽減します。

- ③ 15分置いたら容器に移し、塩昆布を混ぜ、ゴマ油をふっておく。

(2) 他の材料の準備をする

- ① 豚肉に塩麴をまぶし、20分以上置く。
- ② 青ネギは小口切りにする。
- ③ 卵は容器に割り入れ、1個分の黄身を解かずに別容器にとっておく。

(3) 具材を煮る

- ① 鍋にAを入れてから点火し、沸騰させる。
- ② 一旦火を止め、沸騰がおさまったら、下味をつけておいた豚肉を入れサッと混ぜる。表面の色が変わったら、ザルに上げる。乾燥を防ぐため、熱いうちに落としラップをしておく。

- ③ 再度点火し、沸騰したら弱火にしてアクをひく。タマネギを加え、静かに煮る。

(4) 卵でとじて完成させる

- ① 取り分けた卵黄にポン酢を加え、軽く溶く。残りの卵は、白味のコシを切ってから青ネギを加え、全体を軽く溶く。
- ② (3)の鍋に豚肉を戻して広げ、煮汁がフツフツしている状態を維持しながら、青ネギ入りの卵をゆっくり流し入れる。
- ③ 卵の一部がぷくぷくと泡状になってきたら、火を止め、卵黄を中心回りに流す。
- ④ 丼によそい、(1)のトッピング用新タマネギを盛り付ければ出来上がり。

まめ知識

もう1品

新タマネギのアチャール(インド風ピクルス)

【材料】

新タマネギ…1個、塩…小さじ1、粉末パプリカ…大さじ1、ターメリック、クミン、コリアンダー、カルダモン、チリパウダー、ジンジャー、ガーリック…各小さじ1 (またはカレー粉…大さじ1+コンソメ…小さじ1)、レモン果汁…小さじ1、オイル…大さじ3



【作り方】

- ① 新タマネギは繊維を断ち切る方向にスライスして広げ、15分置く。
- ② 大き目のボウルに粉類を全て入れて混ぜる。
- ③ ボウルに新タマネギを加えてよく混ぜ、最後にレモン果汁を加えて混ぜる。
- ④ オイルを煙が出るまで熱し、熱々のまま回しかければ出来上がり。

【今月の素材】

新タマネギ

ヒトが食した物を「エサ」に新しい物質(=代謝物)を作り出す多種多様な腸内細菌。タマネギに含まれる食物繊維やオリゴ糖を好む菌が作る「酪酸などの短鎖脂肪酸」は腸内環境を整えますし、「腸活」の新しい知見＝「ポストバイオティクス」で重要性が指摘されたビタミンB群はタマネギの含硫成分で吸収率が上がります。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ、栄養情報担当者(NR)、食育プロデューサー他

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



SDGsは国連が定めた、地球の明るい未来のための17の目標。
JAしみずは2019年12月にSDGs宣言をしています。

農業の未来とSDGs

vol.28



国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の理念は、協同組合の「相互扶助」の活動に通じます。このコーナーでは、JAのSDGsともいべき協同活動を中心に、自己改革や新たな取り組みを紹介していきます。

農業用コンテナをリサイクル 低価格な再生品で、環境負荷も低減

農業の現場では古くなった資材

や使い終えたビニールは「産業廃棄物」となるものが多く、農家これらのを廃棄するには手間や費用がかかります。

当JAでは、農家の負担軽減を目的にビニールや農業の空ポリ容器、金属缶、農業用コンテナなどの農業用廃棄資材を地域ごとに無料(一部有料)で回収してきました。

30年以上続く取り組み

近年、問題となっているプラスチックごみ。自然に分解されることがほとんどなく、回収や処理が難しいとされています。

農業でも多くのプラスチックが使用され、農業用塩化ビニールは、日本のハウス栽培を支えてきた資材です。しかし、その多くは耐用年数が短く、1〜3年で取り換える必要が



毎年、清水区増で使用済み塩化ビニールの回収をしている



配送センターに積み上げられた廃コンテナ

あります。当JAでは、30年以上前から手間のかかる廃ポリ類の回収を地域ごとに行い、2023年度には延べ748人の農業者から約30tの廃ポリ類を回収しました。持ち込まれた廃棄資材は契約先産廃業者の処理施設で廃棄処理されます。

リサイクルで環境負荷低減へ

昨年9月には、購買課(配送センター)駐車場で廃棄農業用コンテナ・シトラの無料回収を行いました。無料回収は今年で6回目。農業用コンテナ・シトラは回収後、再利用可能分をリサイクルし、荷物用パレットとして通常より低価格で業者が販売。塩化ビニールも同様に再利用可能分をリサイクルしていきます。

購買課の斉藤宗係長は「プラスチックごみの低減になり、リサイクル品は低価格で購入できるため、利用者や環境に負担が少ない取り組みだと思っています」と話していました。

環境負荷を低減するこの取り組みは来年以降も継続し、地域社会に広く貢献していきます。



挿し木にする枝を切っています



出来上がった苗木用の枝とポット



協力して作業を進める部員



青壮年部の活動報告

いまどき! Youth

ユース

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介しています。
 今月は農業収入向上に向け、イチジクの苗木作りに挑戦する取り組みを紹介します。

イチジク苗木で稼ごう!

青壮年部は2月8日、イチジクの苗木の試験栽培をしようと、JAしみず集出荷センターに部員が集まり、苗木と挿し木用の枝を配布しました。

取り組みのきっかけとなったのは、昨年度の常勤役員との意見交換会。役員からの「収入向上のために苗木作りをやってみてはどうか」という提案に端を発します。部員たちが検討した結果、イチジクの苗木の元になる枝を部員から無償で入手できる事も重なり、「とりあえずやってみよう」という機運が生まれました。

特産であるミカンも検討しましたが、ミカンの苗木は接ぎ木による育成のため技術やコツが必要です。また、苗木の値段も高額になるため金銭的なりすくを抑えながら、初心者にも栽培しやすいイチジクから、まずはチャレンジすることにしました。

イチジクの苗は挿し木で育てるため、枝を約20センチに切断。ポットに土と肥料を入れ、苗木を作りました。参加した部員は切断した枝約400本とポットを分けて持ち帰り、自宅で育てていきます。

苗木を育てる部員はLINEグループを作成して、成長過程の管理や情報

を共有。それぞれ栽培を続け、2025年2月ごろに、育てた苗木の出来栄をイチジク部会で発表してみようという意気が上がっています。

また、今後はシキミの苗木の栽培も予定しており、農業収入向上につながる可能性のある試みを青壮年部全体で積極的に取り組んでいきます。

農業収入向上への取り組みが、将来的には耕作地の活用にもつながられるよう、清水の農業と未来を守るために活動していきます。



部員のひとこと

農家の収入向上のため、アイデアを出して青壮年部全体でチャレンジしていきます。



JA青壮年部 副部長 佐藤寛之さん

農業振興、農村振興などに取り組む方へ

2024年度 県農業振興基金協会
助成事業(一般)の募集

県農業振興基金協会では、担い手育成、農業振興、農村振興等に取り組む農業者等の組織(2名以上)に対し、活動経費の1/2以内(限度額有)を助成します。

【助成対象】

事業の実施期間: 2024年4月1日~2025年3月31日

事業区分	事業の内容
担い手育成 対策事業	農業者の経営能力や技術力の向上、生きがい農業の支援、女性の経営参画推進などの、担い手育成活動
地域農業振興 対策事業	農産物のマーケティング、農業生産研究、安全・安心な農産物づくり、鳥獣害対策、農地集積、耕作放棄地の利活用、新技術開発普及、優良種苗の供給などの、農業振興活動
農村振興 対策事業	地域の特産品づくり、グリーンツーリズム、食農教育、直売所の開設など、農村の振興活動

*単年度のソフト事業(固定資産費は助成30万円が上限)です。

【申請手続き】

- ① 農業者等の組織等(2名以上)は、5月上旬までに下記へ申請意向を連絡し、申請についてご相談ください。
- ② 5月下旬に申請書案について事前審査会を行います。
- ③ 申請書の提出期限は6月末です。事業は4月1日から実施可能です。

●お問い合わせ

公益社団法人 静岡県農業振興基金協会
TEL:054-284-9545



ゴールデンウィークの営業案内

●ふれあい館(不動産・ローン)

休館日: 5月1日(水)、5月3日(金・祝)~6(月・祝)

●グリーンセンター 由比店

休業日: 5月5日(日)

●ATM*	4/29(月・祝)	9:00~17:00
	4/30(火)	通常営業
	5/1(水)	通常営業
	5/2(木)	通常営業
	5/3(金・祝)	9:00~17:00
	5/4(土・祝)	9:00~17:00
	5/5(日・祝)	9:00~17:00
	5/6(月・祝)	9:00~17:00
	5/7(火)	通常営業

*日曜・祝日稼働店舗

興津支店、駅前店、庵原支店、袖師支店、飯田支店、下野店、高部支店、梅ヶ谷店、清水支店、下清水支店、有度支店、イオン清水店、草薙支店、由比支店、蒲原支店、みその相談センター

ふれあい館営業時間変更のお知らせ

変更前 平日10:00~19:00

変更後 4月1日(月)より
平日10:00~18:00

土・日・祝日は、これまで通り10:00~17:00で営業いたします。また、水曜日は休業となります。

しずおか農産物直売所『MAP掲載希望』を募集中!

静岡県では、ハウスや畑の横などで農産物を販売する「直売所」を紹介するマップを作成します。

マップへの掲載を希望する直売所の登録を受け付けています。

掲載メリット

- ☑ どこで買えるのか説明できる
- ☑ フードロスの削減につながる
- ☑ 地産地消につながる
- ☑ ファンが増える
- ☑ とれたて農産物を買ってもらえる

など



■掲載する媒体

- ・Googleマップのマイマップ機能(スマートフォンやPCで表示されます)
- ・静岡県農業情報サイト「ZRATTO!しずおか」内、一覧表

■掲載の条件

- ・静岡市内の直売所であること(通販のみの店は対象外)
- ・静岡市内の農業者が生産した農産物を販売していること
- ・違法(迷惑行為等含む)に建設、販売していないこと

■掲載する内容

- ・直売所の名前
- ・住所、電話番号(有人直売所、連絡可能な場合のみ)
- ・販売する作物、時期
- ・HPやSNSのアカウント
- ・その他情報

申し込み方法やその他詳細は、ホームページをご覧ください



こちらをスキャン!



●お問い合わせ

静岡県農業政策課 みかん・園芸・畜産係
TEL:054-354-2091 FAX:054-354-2482
E-mail:nougouseisaku@city.shizuoka.lg.jp

2024年度 新入職員紹介



アグリプロモーション部
アグリ特販課

おおはた ゆずき
大畑 佑津樹



メモリアル清水

ひらおか けんたろう
平岡 健太郎



東部営農センター
グリーンセンター-由比店

たかぎ こうじ
高木 洸児



南部営農センター

さいとう こうすけ
齊藤 晃佑



興津支店

くわはら のぞみ
桑原 希実



庵原支店/両河内支店

くろさわ あいか
黒澤 愛加



飯田支店

おかもと まさき
岡本 暢巧



高部支店

いしはら まほ
石原 真穂



清水支店/三保支店

しばはら ほのか
芝原 帆香



有度支店

むらた りょうき
村田 凌輝



由比支店

たかつ みゆ
高津 美結



蒲原支店

みずたに ゆう
水谷 湧

理事会だより

定例理事会:2月26日(月)

■ 議事

- 静岡県常例検査指摘事項に対する回答について
- 2024年度 機構改革について
- 就業規則及び職員給与規程等の一部変更について
- 固定資産の取得について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- JAバンクにおける規制改革実施計画への対応に向けた農業融資新規実行金額の目標設定について
- 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の一部変更について
- 大口先に対する貸出議案について

「しみずの風」JA広報誌の全国一位を受賞!

優れたJAの広報活動をたたえる第37回JA広報大賞(主催:JA全中)の表彰式が2月27日、東京都内で開かれ、8JAに盾や副賞が贈られました。当JAは、組合員向け広報誌の部で本誌「しみずの風」が優秀賞を受賞し、石切山誠組合長が表彰を受けました。

日ごろより広報活動にご協力いただいております関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



2023年度広報課メンバー▶

編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

新部署へ異動する事になりました。広報の仕事と良いメンバーにめぐり会えた事、たくさんの方と知り合えた事、そして読者の皆さん。深く感謝申し上げます。私にとって、人生の大きな財産となりました。またどこかで… (伊藤)

いろいろな場所に出て人に会った1年だった。雨の日や炎天下、ハウスで汗だくなんて今では平気になってしまった。2年目になり、環境が変化していくが、初心の想いを感じる事は平気にならず、改めて広報と向き合っていきたい (横谷)

二兎を追う者は一兎をも得ず。遠近両用コンタクトを試してみたが、どういふわけか私の場合、遠くも近くも見づらく、結局近眼レンズに戻した。的は一つに絞った方が良い結果が出る。人生とは往々にしてそういうものである。 (杉山さ)

花粉が多く飛散する季節になりました。花粉症の症状がひどい年とそれほどもでもない年がありますが、カメラを構えていると不思議なことに症状が一時的に治まるような気がします。集中して症状を忘れていただけでしょうか。 (見宮)

2度あることは3度あるという言葉があるが、3月末をもって広報担当として3度目の退職となった。思い出は数多くあるが一番の収穫は多くの人と交流できたことである。今後もカメラとさかざき片手に地元の農業に目を注いでいきたい。(杉山滋)

ゆるっと発見!

しみずの魅力

第12回

今回のゴール

加瀬沢基盤整備地

地域クローズアップ
〈小島地域〉



今回のルート

start JAしみず小島支店
goal 加瀬沢基盤整備地

「春色」の坂を上る小島路

寒さが少し和らいだ2月の末、52号線を上ります。戦国時代からあるといわれる旧街道「身延道(みのぶみち)」とほぼ重なる52号線。しかし52号線とずれた身延道の旧道があり、そこも寄り道しながら進みます。

旧道は大きなお屋敷が多く情緒があります。エンジン音も聞こえず、かわいには紅梅・白梅の花、川のせせらぎ。大通りのにぎわいから一歩踏み入れると、風流な場所だという事に

気づきます。52号線に戻ると、ミカンの販売店が見えてきました。今も昔も、山梨へ帰る人にとって最高の静岡土産は、ミカンとお茶。また、少し横道にされると、古民家の宿、料理屋、カフェなどもあり、和を感じるおしゃれな店が点在します。周辺至る所に花・花。

今日は、ネオパーサ清水に向かうため、横道にそれます。すれ違う自動車はなく行き交う車の運転手は、こんなところをママチャリで登っている自分を不思議そうに見てきます。

いよいよネオパーサ。駐車スペースを挟んだ高速道路沿いには公園があり、富士山を眺める事ができます。最後は、加瀬沢基盤整備地。夕日に照らされる広大な畑を見て、開発当時の人々の造成への思いが伝わりました。帰りは、「春色」の中、長い長い下り坂をブレーキいっぱい握りしめてゆっくり下ります。車の風圧にはご注意ください。



52号線、旧JA小島支店南部出張所付近 / カーブに菜の花が咲き、道を華やかに飾っています。



小河内天神社近くの川 / 家々の周りがある小さな畑には、そこかしこに梅の木。さすがは、梅の産地です。



小河内小学校付近の歩道橋 / 上りも下りも行き交う車が多く、中部横断道ができたとはいえ、52号線は今でも山梨と静岡をつなぐ主要道路です。



小島生涯学習交流館の二宮尊徳像
台座には「勤儉力行(きんけんりっこう)」とあります。勤労節約で、努力して物事を行う事。旧JA小島支店跡地にあります。



梅の花
わが家の食卓には欠かせない梅干し。花を見て、以前取材させていただいた梅干しの達人・堀池梅子ちゃんを思い出しました。



ネオパーサ清水
入り口付近のミカン山から、ラジオの音。「春一番が掃除したての…」と歌っています。キャンディーズの「微笑がえし」。ここにも春の息吹が...

